

技術普及部会

技術普及部会 部会長 今井 靖晃

1. はじめに

技術普及部会は、測技協が発信する新技術や注目される技術に関連して広く会員が研鑽でき、参加することのできる仕組みとして、測量調査技術発表会を中心に研修・教育・発表会の企画、運営、広報を行う部会です。

これまでの活動としては、測量調査技術発表会の運営、G空間Expoに測技協ブースを出展する場合や各種勉強会・セミナー等を実施する場合の事務局サポート、大学等から測技協に業界の紹介が依頼された場合の講師対応などを実施してきました。

部会は年1～2回開催し、上記の活動の準備や振り返りを行っています。

2025年度における登録会員企業は13社です。

2. 2025年度の活動

(1) 部会の開催

2025年度は6月30日(月)に第1回部会を開催し、3月に第2回部会を予定しています(表1)。

(2) 測量調査技術発表会の運営

2025年8月1日(金)に新宿区立四谷区民ホールで第47回測量調査技術発表会を開催し、技術普及部会が運営に携わりました。また、2025年10月

7日(水)～10月28日(火)にかけて第47回測量調査技術発表会のWeb公開を実施しました。

第47回測量調査技術発表会のプログラムを図1に示します。四谷区民ホールでの参加者は239名、Web公開での参加者は454名を数え、2022年度以降で最多の参加者となりました。

(3) 日本地理学会サマースクールへの協力

日本地理学会は、大学生・大学院生を対象としたサマースクールを毎年開催しており、地理学の強みを活かして第一線で活躍している民間企業・研究所・行政機関等の講義、共催・後援する機関・研究所の見学、グループワーク・実習を通じた学生同士の交流・意見交換などを行っています。

このたび、日本地理学会から当協会へ2025年度のサマースクールへの協力を依頼されたため、技術普及部会が中心となり、サマースクールのプログラム編成、当日の対応を行いました。

日本地理学会サマースクールは、2025年8月27日(水) 13:00～17:00に立命館東京キャンパスで開催されました。参加者は、学生が対面9名、オンライン12名、測技協会員企業が15名で、地理学を学ぶ学生が測量・地理空間情報業界を知る良い機会となりました。

表1 技術普及部会の開催実績

回数	日時	参加	議題
第1回	2025/6/30(月) 13:30～14:30	部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度技術普及部会メンバー紹介 ・2025年度技術普及部会活動方針 ・第47回測量調査技術発表会の運営について ・連絡事項(協会事務局より) ・その他
第2回	2026/3(予定)	部会メンバー 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第47回測量調査技術発表会の振り返り ・第48回測量調査技術発表会に向けて ・次年度の活動について ・連絡事項(協会事務局より) ・その他

また、サマースクール開催後には、日本地理学会のe-JournalGEOに掲載する「サマースクール開催報告」を執筆しました。

(4) 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科「基礎ゼミナール」での講師

法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科から、昨年に引き続き2年生向けの「基礎ゼミナール」において「測量調査に関わる仕事の内容等」をテーマにした講義(1コマ:100分間)を依頼され、12月2日(火)13:10~14:50に講義を行いました。

聴講した学生は50名を超え、土木工学を学ぶ学生が測量・地理空間情報業界を知る良い機会となりました。また、学科主任の鈴木教授から、来年度の継続も依頼されました。

3. まとめ

測量・地理空間情報に関連する技術革新が著しい昨今、測技協の会員が新技術を学ぶ場の提供や、次世代を担う学生や他団体に対して新技術を正しく伝える機会の創出は大変重要であり、今後も他の部会や事務局と連携しながら、技術普及活動を継続してまいります。

技術普及部会に参加すると、測量調査技術発表会の運営等に携わることにより発表会や勉強会の運営ノウハウを得ることができるとともに、新技術や業界の最新動向を把握することが可能です。参加者のスキル・専門に制約はありませんので、興味・関心をお持ちの会員各社の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

測量CPD 設計CPD 対象			測量CPD: 5P 設計CPD: 5P	
第47回 測量調査技術発表会				
2025年8月1日(金)			主催:公益財団法人日本測量調査技術協会 技術委員会・技術普及部会	
9:50~17:10(受付9:30~)			後援:国土交通省国土地理院 地理情報システム学会	
新宿区立四谷区民ホール			参加料:無料	
〒160-8581 新宿区内藤町87番地			参加方法:測技協HPより事前申込(※当日会場受付可)	
午前の部:9:50~12:00			https://sokuskyo.or.jp/spread/seminar/	
午後の部:13:00~17:10			(WEB公開(予定)2025年10月7日~21日)	
プログラム				
午前の部				
9:50 ~ 9:55	ガイダンス	公益財団法人日本測量調査技術協会 技術普及部会長	今井 清晃 (国際航業株式会社)	
9:55 ~ 10:00	開会挨拶	公益財団法人日本測量調査技術協会 技術委員長	森松 幸生 (国際航業株式会社)	
技術発表 1				
1	10:00 ~ 10:15	様々な高精度衛星測位サービスの検証と利活用方法の検討	株式会社バスコ	小林 義則
2	10:15 ~ 10:30	トータルステーション搭載機能による3次元出来形計測の効率化	株式会社ニコ・トリンプル	五十嵐 祐一
3	10:30 ~ 10:45	三次元データを活用した除雪工事における生産性の向上	アジア航測株式会社	中村 光一
4	10:45 ~ 11:00	建築BIMを活用した3D都市モデル(CityGML建築物モデルL004)作成手法の検証	国際航業株式会社	高澤 慎仁
5	11:00 ~ 11:15	ALBデータによる水面モデル作成と瀬淵判定調査への活用	エアロトヨタ株式会社	吉村 亮志
6	11:15 ~ 11:30	沿岸域における航空レーザ測深(ALB)利活用の最前線	アジア航測株式会社	ハムダニ シライト
7	11:30 ~ 11:45	水中カメラ画像のSFM処理による三次元地形データの取得について	中日本航空株式会社	野口 航平
8	11:45 ~ 12:00	衛星SAR強度差分画像を用いた土砂移動箇所判読の自動化精度向上の試み	株式会社バスコ	真保 琢海
12:00 ~ 13:00 昼食休憩(60分間)				
午後の部				
技術発表 2				
9	13:00 ~ 13:15	今治市山林火災における被害範囲抽出手法の比較	株式会社ウエスコ	玉田 祐夢
10	13:15 ~ 13:30	林野火災の焼損範囲特定手法について	エアロトヨタ株式会社	角笠 嵩文
11	13:30 ~ 13:45	大船渡市山林火災の被害推定における航空レーザによる森林資源解析成果の活用検討	株式会社バスコ	小谷野 開多
12	13:45 ~ 14:00	LIDAR-SLAM技術を用いた効率的かつ効果的な毎木調査手法の提案	中日本航空株式会社	宮地 将生
13	14:00 ~ 14:15	SLAM・UAV計測を活用した差分解析による河川構造物の点検手法の検討	アジア航測株式会社	服部 泰成
14	14:15 ~ 14:30	スマートフォンを用いた三次元計測	株式会社バスコ	榎瀬 洋輝
14:30 ~ 14:35 休憩(5分間)				
測技協 技術部会等 活動報告				
15	14:35 ~ 14:50	(委託研究報告) 既得の航空レーザ測量データを用いた埋蔵文化財の把握に係る利用マニュアル	公益財団法人日本測量調査技術協会 GISセンター	元主任研究員 小山田 智紀 (国際航業株式会社)
16	14:50 ~ 15:05	空中計測・マッピング部会 活動報告	公益財団法人日本測量調査技術協会 空中計測・マッピング部会	部会長 大塚 朋生 (アジア航測株式会社)
17	15:05 ~ 15:20	位置情報・応用計測部会 活動報告	公益財団法人日本測量調査技術協会 位置情報・応用計測部会	部会長 堀井 伸之 (エアロトヨタ株式会社)
15:20 ~ 15:30 休憩(10分間)				
特別講演				
18	15:30 ~ 16:30	都市および河川空間を対象とした緑地環境のセンシング	茨城大学 学術研究院 応用理工学野	教授 桑原 祐史
16:30 ~ 16:35 休憩(5分間)				
表彰式 (優秀論文、優秀発表賞、測量成果品質管理優良賞)				
16:35 ~ 16:55		公益財団法人日本測量調査技術協会	会長 浅見 泰司 他	
16:55 ~ 17:05	総評	公益財団法人日本測量調査技術協会	会長 浅見 泰司	
17:05 ~ 17:10	閉会挨拶	公益財団法人日本測量調査技術協会	専務理事 川久保 雄介	

図1 第47回測量調査技術発表会のプログラム